

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 31日

（報告先）  
横浜市長

住所 横浜市鶴見区大黒町1-70  
氏名 ニチアス(株) 鶴見工場  
工場長 牧田 雅

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	ニチアス株式会社 代表取締役社長 武井 俊之			
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都中央区八丁堀一丁目6番1号			
主たる事業の業種	大分類	E 製造業		
	中分類	21 窯業・土石製品製造業		
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）		
	原油換算エネルギー使用量	3,000 k l	自動車の台数	台

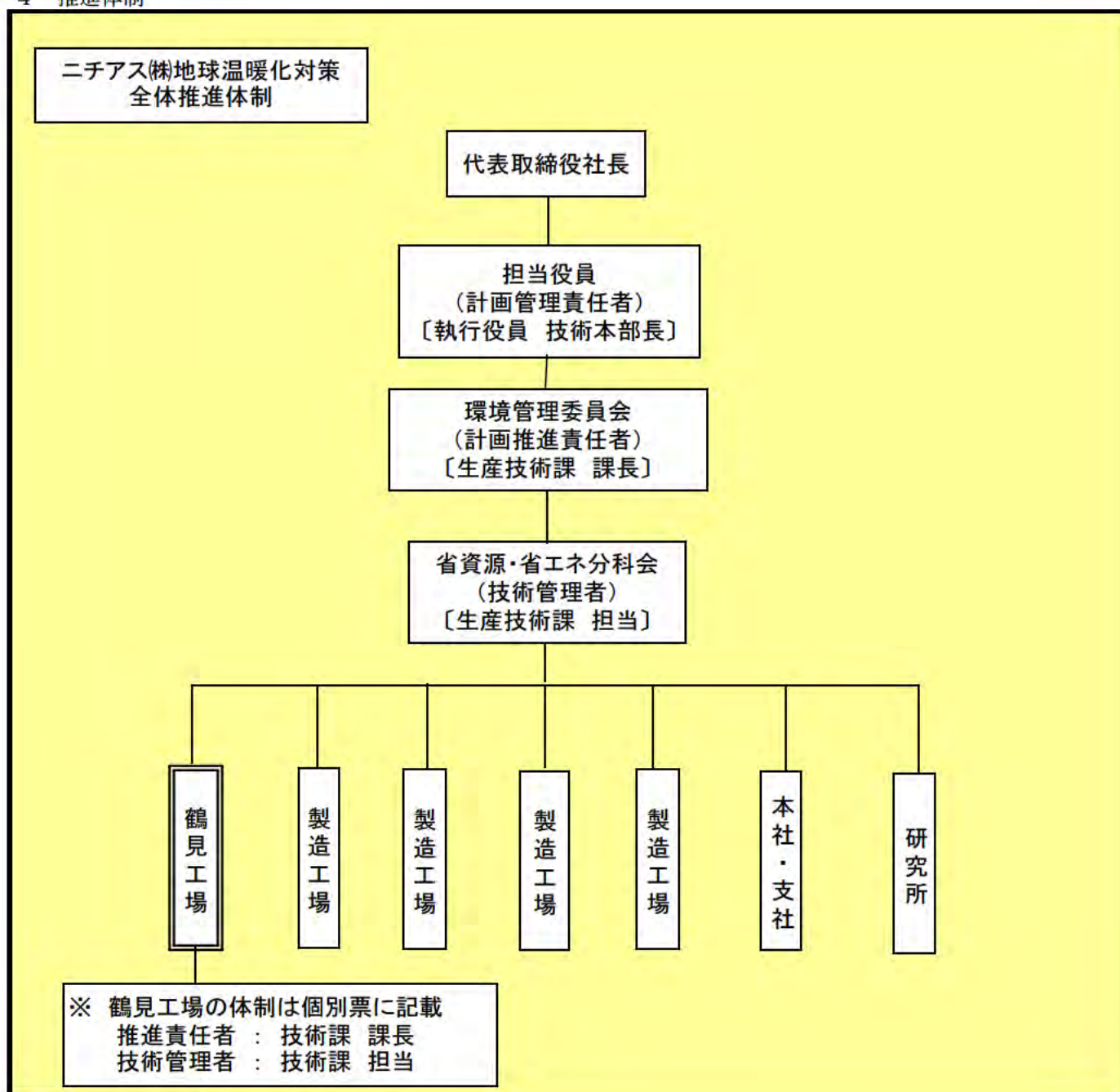
2 計画期間及び実施年度

計 画 期 間	2016	年度 ～	2018	年度	実 施 年 度	2018	年度
---------	------	------	------	----	---------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニチアス環境憲章、環境行動指針に基づき、省資源活動を推進する。</li> <li>・発生源対策等源流部分の対策に重点を置き、目標数値の達成を目指す。</li> <li>・省エネ：生産ロス低減、エネルギー利用効率向上（回収）を目指す。</li> <li>・産廃削減：3R①Reduce②Re-use③Recycle この優先順位で推進する。</li> </ul> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討]</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 1)空調機、2)トランス、3)コンプレッサー、4)照明</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 ⇒受注変動が大きいので受注変動に影響されにくい設備を抽出した。</p> <p>③設備更新スケジュール ⇒1)空調機：平成29,30年度、2)トランス：平成29,30年度、3)コンプレッサー：平成30年度 4)照明：平成29,30年度</p>
---

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	鶴見工場 技術課
	所在地	横浜市鶴見区大黒町1-70
	閲覧可能時間	8:00~17:00
冊子	冊子名	なし
	入手方法	なし
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	4,659	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	4,576	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	4,536	t-CO <sub>2</sub>	削減率	2.6 %	削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	老朽機器等の省エネタイプへの更新 ※横浜市内鶴見工場について記載 ① 空調機更新（5台） : ▲216,000kwh/年 ② コンプレッサー更新（1台） : ▲17,280kwh/年 ③ トランス類更新（3台） : ▲9,600kwh/年 ④ LED照明化（30台） : ▲50,000kwh/年 計 ▲292,880kwh/年 ※ 設備投資の関係がある為、最低でも計画の30%以上を目標に工事を実施する。							
事業者全体としての目標等	・2020年度末にて2015年度比▲5%減（CO2排出量生産高原単位）							
第一年度 (2016年度)	排出量	4,913	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲5.5 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	4,778	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲4.4 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	1. 排出低減対応 ① 蛍光灯照明LED変更（134台） : ▲25,718kwh/年 ② 水銀灯照明LED変更（14台） : ▲16,393kwh/年							
第二年度 (2017年度)	排出量	5,319	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲14.2 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	4,994	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲9.1 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	1. 排出低減対応 ① 蛍光灯照明LED変更（99台） ② 水銀灯照明LED変更（39台） ⇒▲63,080wh/年							
第三年度 (2018年度)	排出量	6,032	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲29.5 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	5,520	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲20.6 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	1. 排出低減対応 ① 蛍光灯照明LED変更（73台） ⇒▲13,050wh/年							
計画期間全体の排出状況に関する説明	① 計画期間内における排出量の変動要因 ⇒半導体関連市場の好況により設備投資を実施し増産対応を図った。 それに伴い電気使用量は大幅に増加。 ② 2018年度原単位は2015年度比の3%減 2015年度 : 1.411kwh/千円 目標値 : 1.369kwh/千円 2018年度 : 1.178kwh/千円							

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /
目標年度 (年度)	目標排出量	t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方						
事業者全体としての目標等						
第一年度 (年度)	排出量	t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率
目標等の達成状況及び説明						
第二年度 (年度)	排出量	t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率
目標等の達成状況及び説明						
第三年度 (年度)	排出量	t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /
	調整後	t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率
目標等の達成状況及び説明						
計画期間全体の排出状況に関する説明						

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	4,009	1	4,296	1	4,664	1	5,212
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満	1	650	1	617	1	655	1	820
合計	2	4,659	2	4,913	2	5,319	2	6,032

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況					
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	2/2	—	年度			2/2	—	年度			2/2	—	年度			2/2	—	年度			
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	2/2	—	年度			2/2	—	年度			2/2	—	年度			2/2	—	年度			
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	0/2	—	2017年度	空調機のリスト化及びMAP作成	実施済	2/2	—	年度		空調機のリスト化及びMAP作成完了	実施済	2/2	—	年度		2/2	—	年度		空調機のリスト化及びMAP作成完了
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	1/2	—	2017年度	運用ルール作成中	実施中	1/2	—	2018年度		運用ルール作成中	実施中	1/2	—	2019年度		1/2	—	2019年度		運用ルール作成中
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施中	実施済	1/1	—	年度	エネルギー原単位表作成		1/1	—	年度				1/1	—	年度		1/1	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2017年度	整備中	実施中	0/1	—	2018年度		整備中	実施中	0/1	—	2019年度		0/1	—	2019年度		整備中
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施中	実施済	1/1	—	年度	パフォーム内の空調機のリスト化及びMAP作成		1/1	—	年度				1/1	—	年度		1/1	—	年度		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済		1/1	—	年度			1/1	—	年度				1/1	—	年度		1/1	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当		/	—	年度	該当設備なし		/	—	年度		該当設備なし		/	—	年度		/	—	年度		該当設備なし
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2018年度	受変電設備の統合及び更新を計画	実施中	0/1	—	2018年度		受変電設備の統合及び更新を計画	実施中	0/1	—	2019年度		0/1	—	2019年度		受変電設備の統合及び更新を計画
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施済	1/1	—	年度	空調機のリモコンに夏場冬場の設定温度貼り付け		1/1	—	年度				1/1	—	年度		1/1	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当		/	—	年度	地下駐車場なし		/	—	年度		地下駐車場なし		/	—	年度		/	—	年度		地下駐車場なし
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/2	—	2018年度	更新対象設備選定中	実施中	0/2	—	2018年度		LED化実施中	実施中	0/2	—	2019年度		0/2	—	2019年度		LED化実施中
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済		2/2	—	年度			2/2	—	年度				2/2	—	年度		2/2	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	実施中	非該当	/	—	年度	立ち入り調査で確認済み	非該当	/	—	年度		立ち入り調査で確認済み	非該当	/	—	年度		/	—	年度		立ち入り調査で確認済み
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当		/	—	年度	冷凍設備なし		/	—	年度		冷凍設備なし		/	—	年度		/	—	年度		冷凍設備なし
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当		/	—	年度	燃焼設備なし		/	—	年度		燃焼設備なし		/	—	年度		/	—	年度		燃焼設備なし
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当		/	—	年度	燃焼設備なし		/	—	年度		燃焼設備なし		/	—	年度		/	—	年度		燃焼設備なし
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当		/	—	年度	ボイラー設備なし		/	—	年度		ボイラー設備なし		/	—	年度		/	—	年度		ボイラー設備なし
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	実施中	実施中	2/23	—	2018年度	電気炉の断熱補修及び断熱強化計画	実施中	5/23	—	2018年度		電気炉の断熱補修及び断熱強化計画	実施中	6/23	—	2020年度		6/23	—	2020年度		電気炉の断熱補修及び断熱強化計画
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施中	実施中	2/12	—	2020年度	吐出見直し	実施中	4/12	—	年度		吐出見直し	実施中	4/12	—	年度		4/12	—	年度		吐出見直し
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施中	実施中	2/12	—	2020年度	吸気温度把握中/管理計画作成中	実施中	4/12	—	年度		吸気温度把握中/管理計画作成中	実施中	4/12	—	年度		4/12	—	年度		吸気温度把握中/管理計画作成中

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度									
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況				
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

（注意事項）・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。  
・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。  
・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		1.00 %		6,032		99.8		39.2		61					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	4000ton室LED照明化	鶴見工場	2016	水銀灯HID ・消費電力：400W ・台数：14台	昼間買電	31,987	kWh	16.4	パナソニック製LED ・消費電力：195W ・台数：14台	昼間買電	15,594	kWh	8.0	8.4	2,200 千円
2	第4工場3階溶接室第1CR LED照明化	鶴見工場	2016	蛍光灯（40W×2灯） ・消費電力：85W ・台数：38台	昼間買電	12,300	kWh	6.3	パナソニック製LED ・消費電力：35W ・台数：38台	昼間買電	5,007	kWh	2.6	3.7	700 千円
3	第4工場3階溶接室第2CR LED照明化	鶴見工場	2016	蛍光灯（40W×2灯） ・消費電力：85W ・台数：40台	昼間買電	12,947	kWh	6.6	パナソニック製LED ・消費電力：35W ・台数：40台	昼間買電	5,270	kWh	2.7	3.9	730 千円
4	第5工場1階旋盤加工室 LED照明化	鶴見工場	2016	蛍光灯（40W×2灯） ・消費電力：85W ・台数：56台	昼間買電	18,126	kWh	9.3	パナソニック製LED ・消費電力：35W ・台数：56台	昼間買電	7,378	kWh	3.8	5.5	1,120 千円
5	シート電気炉室 LED照明化	鶴見工場	2017	①水銀灯（400W×1灯） ・消費電力：415W ・台数：6台 ②蛍光灯（40W×2灯） ・消費電力：85W ・台数：8台	昼間買電	12,935	kWh	6.6	●アゼット製LEDリフレクタイト ①蛍光灯 ・消費電力：16W ・台数：6台 ②蛍光灯 ・消費電力：123W ・台数：8台	昼間買電	3,118	kWh	1.6	5.0	千円

連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
6	第2工場液圧電気炉室 LED照明化	鶴見工場	2017	水銀灯(400W×1灯) ・消費電力: 415W ・台数: 18台	昼間買電	26,892	kWh	13.8	●アゼット製LEDリフレクタイト ①蛍光灯 ・消費電力: 82W ・台数: 6台 ②蛍光灯 ・消費電力: 123W ・台数: 12台	昼間買電	7,085	kWh	3.6	10.1	千円
7	物流倉庫 LED照明化	鶴見工場	2017	①水銀灯(400W×1灯) ・消費電力: 415W ・台数: 15台 ②蛍光灯(40W×2灯) ・消費電力: 85W ・台数: 12台	昼間買電	24,743	kWh	12.7	●アゼット製LEDリフレクタイト ①蛍光灯 ・消費電力: 16W/41W/82W ・台数: 12台/3台/6台 ②蛍光灯 ・消費電力: 123W ・台数: 8台	昼間買電	6,448	kWh	3.3	9.4	千円
8	第4工場3階品管検査室 LED照明化	鶴見工場	2017	蛍光灯(40W×2灯) ・消費電力: 85W ・台数: 45台	昼間買電	14,565	kWh	7.5	パナソニック製LED ・消費電力: 35W ・台数: 45台	昼間買電	5,929	kWh	3.0	4.4	千円
9	第5工場1階検査室 LED照明化	鶴見工場	2017	蛍光灯(40W×2灯) ・消費電力: 85W ・台数: 34台	昼間買電	11,005	kWh	5.6	パナソニック製LED ・消費電力: 35W ・台数: 34台	昼間買電	4,480	kWh	2.3	3.3	千円
10	第1工場1階電気炉室等 LED照明化	鶴見工場	2018	蛍光灯(40W×2灯) ・消費電力: 85W ・台数: 33台	昼間買電	13,266	kWh	6.8	パナソニック製LED ・消費電力: 35W ・台数: 33台	昼間買電	7,566	kWh	3.9	2.9	1,400 千円
11	第1工場1階プレス室等 LED照明化	鶴見工場	2018	蛍光灯(40W×2灯) ・消費電力: 85W ・台数: 40台	昼間買電	16,080	kWh	8.2	パナソニック製LED ・消費電力: 35W ・台数: 40台	昼間買電	8,730	kWh	4.5	3.8	1,770 千円



細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED照明化	2016年度	・水銀灯400W×14台 ・蛍光灯40W2灯用×134台	21.5t-CO2削減
2	LED照明化	2017年度	・水銀灯400W×39台 ・蛍光灯40W2灯用×99台	32.2t-CO2削減
3	LED照明化	2018年度	・蛍光灯40W2灯用×73台	6.7t-CO2削減
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	512	東京電力エナジーパートナー(株)
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	1. 廃プラリサイクルの推進 樹脂材回収リサイクル化及び処理費低減活動の継続実施
計画期間内に実施する対策	1. 廃プラリサイクルの推進 樹脂材回収リサイクル化：28年度～目標 94%以上
第一年度実績	1. 廃プラリサイクルの維持 樹脂材回収リサイクル化 ⇒ 2016年度：93.3%（通期）
第二年度実績	1. 廃プラリサイクルの維持 樹脂材回収リサイクル化 ⇒ 2017年度：93.2%（通期）
第三年度実績	1. 廃プラリサイクルの維持 樹脂材回収リサイクル化 ⇒ 2018年度：92.4%（通期）

14 実施状況等に対する自己評価

樹脂材回収のリサイクル目標値には届かなかったが引き続き樹脂材の分別活動を実施できている点は評価できる。